



ほけんだより 7月号

令和8年6月30日
国立保育園
大城



暑い日が続くようになり、熱中症が心配な時期となりました。体が暑さに慣れていない梅雨明けや急激に気温が上がった日は特に注意が必要です。喉がかわいていなくても水分をこまめに摂取するようにしましょう。

夏に多い感染症

ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

いずれも「登園届」または「登園許可証」が必要です

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ぼう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1～4日くらいで解熱します。



プール熱

プールで感染することもあり、高熱が3～5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。食事は消化のよい物を食べましょう。



手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ぼうができて、発熱することもあります。食事は喉越しのよい物を食べましょう。



流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染源となるので、タオルは共有しないようにしましょう。

水遊びについて

・耳・鼻・喉・目・皮膚の病気は治療を済ませておきましょう。また、治療中の病気があれば事前にお知らせください。

・登園後に体調が悪くなった時、鼻水が出る、のどの痛みがある、目の充血がある場合は水遊びができません。

子どもたちの大好きな水遊び。元気に楽しくできるように、毎朝の体調チェックをお願いいたします。

【6月の感染症】

伝染性紅斑 1名

※診断はされていませんが、1.2歳児クラスで下痢症状や軟便が数日続く子が増えています。発熱がなく元気だとしても、感染症拡大防止のため下痢や軟便が続く場合は、受診をおすすめいたします。

【7月の保健予定】

15日(水) 3.4.5歳児身体測定
17日(金) 1.2歳児身体測定